

Lesson 01 「旧石器時代の日本列島」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

【地質年代区分】

- 先カンブリア時代 → 古生代 → 中生代
→ 新生代 = (暁新世・始新世・漸新世・中新世・鮮新世・更新世・完新世)
- 2020年 IUGS
〔1 〕は、最後の〔2 〕の痕跡を示す千葉県市原市の地層断面にもとづき、77.4万年前～12.9万年前(更新世/後期)の期間を〔3 〕 (=千葉時代)と命名した

【人類の誕生】

- 中新世(約700～600万年前)
 - ・ヒトの祖先が〔4 〕で誕生～ヒト・チンパンジー共通祖先が分岐
- 鮮新世(約500万年～250万年前)のはじめごろ
 - ・〔5 〕が誕生
～ 二足歩行を始める
 - ・〔6 〕(約250万年～1万年前)
= **氷河時代**(氷期と間氷期が交互にくりかえされる)
 - ・〔7 〕(約250万年前)
～ 外界への適応力が増す
 - ・〔8 〕(約50万年前) → 〔9 〕(約10万年前)
～ 地球上の広い範囲に分布域を拡大
- 旧石器時代(約250万年前～更新世末)
 - ・直立二足歩行 ～ 手の自由を得る
→ 〔10 〕の使用 … (石を打ち欠いただけの石器を製作)
→ 〔11 〕の使用
→ 〔12 〕の発達
～ 大型獣の狩猟のため意思伝達の必要性 → 〔13 〕の成立
- 旧石器時代の日本列島と大陸
 - ・寒冷な氷期 ～ 平均気温は現在より〔14 〕**℃** 低く、海面/海拔高度は現在より〔15 〕**m** 低い
 - ・日本列島と大陸が陸続き
北海道 ▶ 〔16 〕 **ルート** 〕
西日本 ▶ 〔17 〕 **ルート** ・ **ルート** ・ **ルート** ・ **ルート** (沖縄) **ルート** 〕
→ 大陸から大型獣や人類の往来が可能

- 人類が追った大型獣
北方系：〔18 〕
南方系：〔19 〕
- 石器の形や製作技法の大陸との共通性
～ 旧石器時代の文化交流の広さをうかがい知ることができる
- 化石人骨の発見 静岡県〔20 〕、沖縄県〔21 〕

【日本の旧石器時代】

- 群馬県〔22 〕 **遺跡** 〕の発見 ～ 群馬県新田郡笠懸村
1946 発見者：〔23 〕
この地域の赤土である〔24 〕 **層** 〕の中から石器を発見(黒曜石製の打製石器)
1949 明治大学の発掘調査における確認作業
⇒ 更新世の地層で石器の発見が相次ぐ
⇒ 土器使用以前の古い文化(=旧石器文化)の存在が証明されていく

【日本の旧石器文化】

- 旧石器時代の遺跡 ～ 多くは後期旧石器時代のもの(約4万年前よりも新しい)
- 石器の主な材料：〔25 〕
- 石器の種類
 - ・〔26 〕(ハンドアックス)
 - ・ナイフ形石器(刺突具・刃器)
 - ・搔器(獣皮をなめす)
 - ・槍先形尖頭器
 - ・〔27 〕(マイクロリス) ～ 旧石器時代末期に出現
- 東アジア・北アジアとの関連性
 - ・石器製作技法や石器の形態 → 日本列島特有のものもある
 - ・日本列島内の地域差 ～ 石器の種類、ナイフ形石器の形態 → 地域性形成のさきがけ
- 生活
 - ・落とし穴や槍などを使った狩猟、移動生活
 - ・小規模な集団の自給的生活 ～ 石器石材の遠方からの調達 → 他集団との社会的関係
 - ・精神文化面は不明な点が多い
〔28 〕を中心に「玉類」・「垂飾り類」発見 → 装飾行為
- 旧石器時代の遺跡 ～ 全国10,000か所以上
 - ・生活の痕跡が少ない → 移動性の高い生活(獲物を追う生活)
 - ・石器製作跡やキャンプサイトの発見〔洞窟・岩陰〕
 - ・旧石器時代の代表的遺跡
北海道 … 〔29 〕 **遺跡** 〕 … 細石刃を多数発見
長野県 … 〔30 〕 **遺跡** 〕 … ナウマンゾウ博物館でも有名